

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 30 日 (2020.1.30)

【公開番号】特開 2018-148261 (P2018-148261A)

【公開日】平成 30 年 9 月 20 日 (2018.9.20)

【年通号数】公開・登録公報 2018-036

【出願番号】特願 2017-38128 (P2017-38128)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

G 0 9 G 5/36 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/74 Z

G 0 3 B 21/00 D

G 0 3 B 21/14 Z

G 0 9 G 5/00 5 1 0 B

G 0 9 G 5/00 X

G 0 9 G 5/00 5 5 0 C

G 0 9 G 5/00 5 3 0 H

G 0 9 G 5/36 5 2 0 D

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 11 日 (2019.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 6 】

位置検出部 1 0 6 は、光出射装置 2 0 0 に赤外光を射出させ、撮像部 1 0 3 が赤外光を利用して生成した撮像画像とキャリブレーション結果とに基づいて、電子ペン 5 0 0 の指示位置と指 6 0 0 の指示位置とを検出する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 3 】

キャリブレーションが終了すると、キャリブレーション制御部 1 0 9 は、切替部 2 1 c を制御して I R 透過フィルター 2 1 b を光学系 2 2 とイメージセンサー 2 3 の間に配置させる。これ以降、位置検出部 1 0 6 は、光出射装置 2 0 0 に赤外光を射出させ、撮像部 1 0 3 が赤外光を撮像して生成した撮像画像から、電子ペン 5 0 0 や指 6 0 0 で指示された指示位置を検出する。そして、位置検出部 1 0 6 は、検出した指示位置を、記憶部 1 0 4 に記憶されているキャリブレーションデータに基づいて、画像情報に応じた投射画像上の位置に変換し、画像制御部 1 0 7 に出力する。